

田原市 あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.89

令和5年4月15日号

今月の渥美半島の花
「カスミノウ」



令和5年第1回定例会 (3/1~3/23)

- 定例会で決まったこと 2 ページ
- 税金の使い方が決まりました 4
- 議案一覧・主な質疑 6
- 一般質問 (代表質問・個人質問) . . . 10

その他

- 令和4年 議会活動状況の報告 16
- 議会の活動 17



幸せな人生に向けて!!

赤羽根学園の皆さん (インタビュー18ページ)

新年度予算を可決

令和5年 第1回 定例会 (3月1日~3月23日)

このようなことが決まりました

市長提出議案	29件
議員提出議案	2件

令和5年第1回定例会を3月1日から3月23日まで開催しました。
市長提出議案29件のうち、公平委員会委員の選任1件は同意することに決定し、
令和5年度一般会計予算などを含む市長提出議案28件は、いずれも原案のとおり
可決しました。
また、議員提出議案2件も全会一致で可決しました。

▷ 関連4~9ページ

議案第25号令和5年度一般会計予算ほか4件

税金の使い方が決まりました

3月13日から16日の4日間、予算決算委員会において令和5年度予算案の内容を審査し、3月23日の本会議最終日に全ての予算を可決しました。

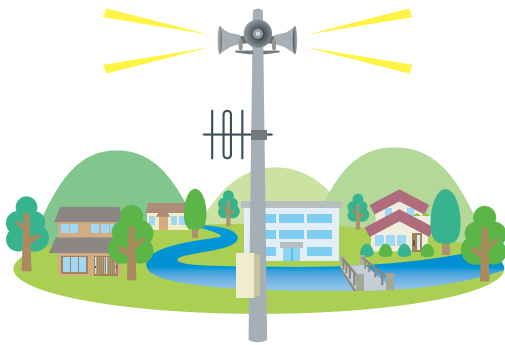


元気な田原を取り戻す

議案第25号令和5年度一般会計予算

防災行政無線を更新し機能を
向上させます

老朽化した防災行政無線を更新することで、機能の向上を図ります。また同時に防災アプリを整備し、市民が防災情報等を得るための手段を増やします。



議案第7号基金条例の一部改正

大規模事業推進基金の名称
および設置目的を変更します

基金の名称を公有財産等総合管理基金とし、公共施設の新設・更新などの大規模事業に加え、市の財産の保全や処分など、広く公有財産等の適正な管理に基金を活用できるようにします。



令和5年度予算審査

税金の使い方が決まりました

市長から、令和5年度の予算案が提出され、議長以外の全議員で構成する予算決算委員会において、内容を審査しました。

審査の結果、全ての予算を可決し、令和5年度の税金の使い方が決まりました。

※万円未満切り捨て

■ 特別会計の内訳

国民健康保険特別会計 82億 210万円

後期高齢者医療特別会計 9億6,858万円

■ 企業会計の内訳

水道事業 (収益的支出) 12億4,361万円

(資本的支出) 7億2,313万円

下水道事業 (収益的支出) 25億4,665万円

(資本的支出) 14億2,056万円

総 額	446億4,466万円 (前年度比 +15億8,563万円)
一般会計予算	295億4,000万円 (前年度比 +10億6,000万円)
特別会計予算	91億7,068万円 (前年度比 +1億8,420万円)
企業会計予算	59億3,397万円 (前年度比 +3億4,143万円)

「未来に向けて

夢と魅力をはぐくむ」予算

令和5年に入り、コロナ禍で落ち込んでいた社会経済活動も緩やかに持ち直しが見られています。一方、世界的なエネルギー・食糧価格など物価高騰による景気後退の懸念など取り巻く環境には厳しさが増しています。

このような状況を踏まえ、令和5年度予算編成においては、先行きが不透明な状況ながらも、地域の魅力を磨き、社会基盤を充実させ、コロナ後の新しい社会を見据えた取り組みを展開するための予算案が、市長から提出されました。

令和5年度の重点施策

①住んでみたい・

訪ねてみたいまちづくり

②住み続けたいまちづくり

③未来につながるまちづくり



令和5年度 主な事業

令和5年度の新規事業
を中心にご紹介します。

(万円未満切り捨て)



農業者への電気料金高騰対策 8,500万円

電気料金高騰の影響を大きく受ける
農業者への電気料金一部補助



あさりの稚貝採取・放流事業支援 564万円

水産物の安定供給を目指し、
「育てる漁業」を推進



伊良湖クリスタルポルト運営再開 4,674万円

伊良湖地区の交通・
観光振興拠点としての機能回復



出産・子育て支援の充実 3,941万円

安心して妊娠・出産・子育てを迎える
ための給付金支給と相談支援の拡充



休日部活動の地域移行 155万円

子どもの地域活動への参加を促す
地域活動団体コーディネーターを配置



シニアカー購入支援 150万円

高齢者が運転免許証を
自主返納しやすい環境づくり



市民プールの整備 2,535万円

整備手法の調査を行い、効率的な
整備手法・運営方法などを検討



市制20周年記念事業 2,993万円

本市のさまざまな魅力を再発見し、
郷土愛を高める各種記念事業を実施

令和5年第1回定例会議案一覧

議案 番号	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	22	19	20
	公平委員会委員の選任 (加子 幸子氏)	個人情報保護に関する法律施行 条例	行政手続における特定の個人を識別 するための番号の利用に関する条例 の一部改正	特別職の職員で常勤のものとの給与 及び旅費に関する条例の一部改正	使用料及び手数料条例の一部改正	基金条例の一部改正	博物館条例の一部改正	放課後児童健全育成事業の設備及び 運営に関する基準を定める条例の 一部改正	家庭の保育事業等の設備及び運営に 関する基準を定める条例の一部改正	特定教育・保育施設及び特定地域型 保育事業の運営に関する基準を定め る条例の一部改正	子ども・子育て会議条例の一部改正	精神障害者医療費の助成に関する 条例の一部改正	国民健康保険条例の一部改正	廃棄物の処理及び再利用に関する 条例の一部改正	下水道条例の一部改正	消防団条例の一部改正	ごみ中継施設整備工事請負契約	市道路線の認定	指定管理者の指定	田原福祉センター(社会福祉法人 田原市社会福祉協議会) 赤羽根福祉センター(社会福祉法人 田原市社会福祉協議会)

21 伊良湖観光情報サービスセンター
(株式会社 田原観光情報サービス
センター)

令和4年度補正予算

23 一般会計(第9号)

24 国民健康保険特別会計(第1号)

令和5年度予算

25 一般会計

26 国民健康保険特別会計

27 後期高齢者医療特別会計

28 水道事業会計

29 下水道事業会計

追加議案

議案
番号

市長提出議案

令和5年度補正予算

30 一般会計(第1号)

議案
番号

議員提出議案

議決1

議会の個人情報保護に関する条例

議決2

議会委員会条例の一部改正

※今定例会では、賛否の分かれた議案は
ありませんでした。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.6

使用料及び手数料条例の一部改正

問 条例改正の理由の一つに、マイナ
ンバーカードの普及促進を挙げて
いるが、具体的には。

答 コンビニ交付サービスの手数料を
100円減額することで、マイナ
ンバーカードの取得促進ととも
に、利用啓発を図る。

問 コンビニ交付を利用促進すること
により、市民の利便性はどのよう
に向上するのか。

答 手数料の減額により、午前6時30
分から午後11時まで証明書が取得
できるコンビニ交付サービスに誘
導することで、市役所の閉庁時や
どこでも証明書の交付を受けられ
る利便さを感じてもらえると考え
ている。

問 情報システム機構への手数料は証
明書を交付するほど増えるが、利便
性と支出の負担が増えることを比
較して、どのように考えているか。

答 コンビニ交付が増えることで、市
役所窓口での待ち時間短縮、混雑
緩和、窓口業務の効率化につな
がり、市民にとっても利便性の向上
など、よい影響があるものと考え
ている。

議案 No.8

博物館条例の一部改正

問 博物館資料に係る電磁的記録を作
成し公開することが追加された
が、公開手段や公開媒体は。

答 ホームページで公開可能なものは
公開していく。また、専用のア
プリのダウンロードにより、入館者
が展示品を鑑賞しながら、自身の
スマートフォンなどで資料情報を
閲覧することも可能となる。

議案 No.9

放課後児童健全育成事業の設備及び運営
に関する基準を定める条例の一部改正

問 児童の安全に係る事故を防ぐ目的
で追加されている条文に、自動車
を運行する際の所在の確認の実施
とあるが、児童クラブにおいてバ
スの利用はあるか。

答 市児童クラブでは普段の送迎での
利用はないが、夏休みなど日帰りの
遠足などで利用することがあ
る。また、民営のたつぷく児童ク
ラブではマイクロバスやワゴン車
を使って送迎している。

問 条例は令和5年4月1日に施行、1年の経過措置があるが、どのようなスケジュールで行っていくか。

答 安全計画を令和5年中に策定し、令和6年3月までに職員、関係者、また入所する機会に保護者へ周知していく。

議案 No.15

廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正

問 市に収集、運搬（戸別収集）をしてもらいたい粗大ごみに貼る指定シールはどこで販売するのか。

答 市役所、赤羽根市民センター、渥美支所および市内で協力いただけるコンビニエンスストアを予定している。

問 コンビニエンスストアはどの程度の店舗数を見込んでいるか。

答 市内全32店舗にアンケートを実施中。回答は出そろっていないが、8〜9割程度を見込んでいます。

問 指定シールの価格は、豊橋市ではごみの大きさや種類により価格に差をつけているが、本市が固定価格を800円とした考え方は。

答 利用者がごみの大きさや種類によって購入するシールを判断して

いく煩雑さや、収集時にごみの大きさ等と指定シールが違うことにより収集ができないといったトラブルを回避するため。

問 市民が自分自身で各資源化・環境センターに粗大ごみを持ち込む場合は、これまでどおり無料で引き取ってもらえるのか。

答 従来どおり無料である。
(3/9 文教厚生委員会)

議案 No.17

消防団条例の一部改正

問 出動手当について、費用弁償を改め、新たに出勤報酬とした経緯は。

答 消防団員の処遇改善を目的として、総務省消防庁が「非常勤消防団員の報酬等の基準」を策定し、消防団員の活動や労苦に応じた報酬として位置付けられたため、基準に準じて出勤報酬の創設と出勤区分に応じた改正をする。



問 区分分けは、どのような考えで設定されたのか。

答 基準では、出勤報酬の額は1日7時間45分を基本とし、1日当たり8千円が標準額として示されている。消防団と協議し、活動に応じた支給体系となるよう1時間当たり千円と換算し区分分けした。教育、訓練等の出勤については、訓練時間がおおむね2時間で完結することから2千円とする。

問 火災の誤報や短時間の出勤における出動手当は、支給されるのか。

答 消防団員は仕事を持ちながら、また、就寝中であっても出勤要請がかかれば火災現場に赴くため、誤報や出勤が短時間の場合でも出勤に係る危険や業務負荷の対価として出勤報酬を支給する。
(3/9 総務産業委員会)

議案 No.25

令和5年度一般会計予算

会計事務

問 窓口納付手数料等のキャッシュレス決済は、職員がいない施設ではどう対応するのか。

答 指定管理等で職員以外の者が管理する、白谷海浜公園、赤羽根文化

広場、華山会館などの施設は、全ての窓口でQRコード決済サービスを導入する。



シティセールス推進事業

問 昨年度と比べ、委託料が増額した主な要因は。

答 ふるさと納税の寄附見込額の増加に伴う返礼等に係る経費の増額と、市制20周年を記念し、4年ぶりに開催予定の中日ドラゴンズのゲームスポンサー事業に関する経費の増額によるもの。

市制施行20周年記念事業

問 どのような市民提案型の委託事業を予定しているか。

答 三河湾から渥美半島を望む三河湾特別クルーズ&伊良湖港フェスタ、市内を巡りポイントを集めるロゲイニング、体験や映画などサーフィンの魅力を発信するイベントの3つ。

賦課徴収事務

問 20周年記念ナンバープレート交付の内訳は。

答 原動機付自転車50cc以下が白色のナンバーで150枚、90cc以下が黄色で50枚、125cc以下が桃色で50枚、小型特殊自動車は緑色で150枚、計400枚と考えている。

観光地維持管理事業

問 伊良湖海水浴場公衆便所・管理棟改修工事を行う理由は。

答 令和2年から3年間開催してなかった海水浴場を再開するため。
(3/13 予算決算委員会)

結婚支援事業

問 結婚相談所ふれあい相談センターへの委託料が昨年度と変わっていないが、出会いイベントや各種セミナーが年6回から年3回に減っている理由は。

答 参加者から出会いイベントやセミナーをまとめて1日で開催した方が参加しやすく負担が少ないといった意見もあったことから、試験的に3回開催とする。

母子家庭等医療給付事業

問 昨年度と比べ、対象者の見込みが減っているのに対し、増額の予算を見込んでいるのはなぜか。

答 個々の医療費の状況により大きく変わるが、近年の実績や令和4年度上半期の医療費の支出額などを基とした。

高齢者外出支援助成事業

問 高齢者の公共機関による外出を支援するための助成券が、1人当たり6千円から、運転免許証のある方5千円、ない方1万円分に助成額を変更した理由は。

答 助成券交付時のアンケート結果により、免許の無い方の助成額を増額した。ただし、免許保有者の使用予定率も高い数字だったため、助成額を減額した上で対象とすることは継続した。



介護予防普及啓発事業

問 脳の健康教室受講者のテキスト代を半額公費で負担する理由は。

答 自己負担があることで継続する意欲が高まること、自己負担分を支援することで、受講者を増やすことなど総合的に判断した。

母子保健事業

問 新規事業として、生後8か月児見守り訪問事業を実施する狙いは。

答 生後8か月頃には夜泣きや離乳食など、新たな育児に関する心配事が増える時期である。また、母親自身の疲労や睡眠不足は1歳くらいまでは慢性的に続くことがあるため、子育て家庭の孤立を防いで見守りと安心を届けることを狙いとした。



特定不妊治療等支援事業

問 予算が減額した理由は。

答 体外受精など不妊治療が保険適用となったこと、自己負担額の低い一般不妊治療を補助対象外とした。

成人感染症予防事業

問 带状疱疹ワクチン予防接種について、対象を50歳以上とした理由と費用は。

答 带状疱疹の発症率が50歳代から上昇すること、2種類のワクチンが50歳以上の方への接種について承認されていることによる。また、水痘ワクチンは4千円、带状疱疹ワクチンは1回1万円の助成額で設定している。

担い手支援事業

問 新規就農者奨励金の内容は。

答 令和5年4月以降に親元就農または独立・自営就農した市内に住所を有する就農時の年齢が50歳未満の方で、田原市4日クラブ連絡協議会に加入・活動し、田原市農業改良推進協議会主催のニューファーマーセミナーを修了した方に10万円の奨励金を支給する。

農業経営活性化事業

問 電気料金高騰対策特別支援金対象者の選定および支援額は。

答 農業の販売金額に対する電気料金が占める割合が、令和3年で4.5%、令和4年で5.8%以上と

なる農家を対象とし、支援額は令和3年と令和4年の電気料金の差額の3分の1としている。

(3/14 予算決算委員会)

防災情報通信施設等整備事業

問 同報系防災行政無線を更新する内容とスケジュールは。

答 親局、中継局、スピーカーが設置されている屋外子局251本をデジタル化に更新するもので、令和5年度は機器の製作、令和6年度から令和7年度にかけて順に更新していく。

地方バス路線支援事業

問 交通系ICカード導入に対する支援は、事業費負担割合を国、事業者、自治体で3分の1としているが、豊鉄バスは他市町へも運行している。どのように自治体の事業負担割合を決めたか。

答 沿線市町が複数にわたるため、県が6分の1、残りの6分の1を沿線市町の路線延長比と人口比で決めた。



田原地区まちづくり事業

問 市道駅前通り線の街路樹整備とは。

答 晩田交差点から田原萱町交差点までの約600メートルは既存街路樹と同種で補植を検討、三河田原駅から赤石交差点までの約700メートルは全ての高木街路樹の植え替えを予定している。

(3/15 予算決算委員会)

共育推進事業

問 令和5年度から地域活動団体コーディネーターを配置する理由は。

答 小・中学校の部活動が縮小するということは、児童・生徒が希望する多様な活動に参加できる時間が増えることになる。多様な活動団体との情報共有や新たな活動団体の立ち上げ支援には専門的に対応できる者が必要であると判断したため。

文化財保護事業

問 池ノ原公園の復元された幽居邸の前にある渡辺華山銅像の修繕をなぜ今行うのか。

答 昭和30年制作以来、修繕等は行っておらず、近年は酸性雨が原因と思われる傷みが顔の部分などに顕著になってきたため。また、渡辺華山生誕230年の記念の年でもあるため。



スポーツ振興事業

問 JA愛知みなみの跡地に市民プールの整備を予定しているところがあるが、今後の調査のポイントは。

答 施設が市街地の活性化、スポーツ振興、水泳教育に寄与する施設となるような施設の規模や内容、整備・運営手法など、サービスやコストパフォーマンスに優れた施設を整備することをポイントとしている。

(3/16 予算決算委員会)

令和5年度一般会計補正予算(第1号) 新型コロナウイルスワクチン接種事業

問 今回のワクチン接種は、自己判断で行うものであり、接種しなくてはならないと思わせないよう配慮をすべきと思うが、考えは。

答 今回努力義務の対象である65歳以上の方には予診票を直接送付、それ以外の方には案内通知を送り、接種を希望する方からの申し込み後、予診票を送る。予診票や案内通知には、接種は強制ではなく、本人または保護者の判断で行うものであることや、この判断に活用できる国の情報を紹介する内容も記載する予定である。

(3/23 本会議)



陳情を審査しました

▽幼保・小中学校の給食費の無償化を求める陳情

文教厚生委員会で陳情を審査した結果、不採択となりました。

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

代表質問

歳入確保の取り組みは

国などの補助制度の活用とともに、市債の借入れ、各種基金をバランスよく活用していく



村上 誠

自由民主党田原市議団



令和5年度施政方針について

問 地域経済の現状と今後の見通しは。

答 世界的なエネルギー・食糧価格の高騰による景気後退の懸念など、厳しい状況が続くと想定されるため、国や県の動きを捉え、地域産業や市民生活への影響を最小限に抑えることが重要であると考える。

問 歳入確保の取り組みは。

答 企業立地や地域産業の育成につながる取り組みを推進し、将来に向けた安定的な税収の確保に努めていきたい。また、可能な限り国・県の政策に基づく補助制度などを積極的に活用するとともに、財政指標の健全性に留意し、市債の借入れと各種基金をバランスよく活用していく。

問 令和5年度は普通交付税が不交付となり、これを補う基金からの繰入金が大きく増額しているが、将来は大丈夫か。

答 市税や地方交付税などの収入減少は一時的なものと捉えており、令和6年度以降は例年並みの規模を確保できると見込んでいるため、今後も安定的な財政運営が可能と考える。

問 児童クラブは、学校との併設を期待するが、その展望は。

答 すでに4つの児童クラブは学校と併設しており、今後、童浦小学校も併設予定である。その他のクラブも校舎改修や空き教室の活用などのタイミングに合わせて地域や学校と連携し、併設を検討していく。

問 国道259号、国道42号の整備の要望はどのように取り組んでいくのか。

答 農業や工業、観光、市民生活を支える重要路線であり、今後、浜松湖西豊橋道路や渥美半島道路の実現を目指す上でも、両国道は広域幹線道路ネットワークの充実に向け重要な路線となるため、より一層、国や県への要望活動に力を入れていく。



平松 昭徳
市民クラブ

代表質問

予算編成において重要視した点は

令和5年度に向け、基本方針を4項目定め予算を編成した



令和5年度施政方針について

問 予算編成において重要視した点は。

答 毎年度、本市が重要視すべき項目を基本方針として定めており、令和5年度に向け、①総合計画およびまち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な実施、②デジタル化やグリーン化など社会情勢の変化に対応するための取り組み、③公共施設・インフラにおける適正管理の推進、④持続可能な行財政基盤の確立の4項目を掲げ、令和5年度予算を編成した。

問 誰もが安心して働ける環境整備につながる就労支援について、どのように進めていくのか。

答 勤労者の生活および福祉の向上を図るための勤労者支援事業や、田原市地域職業相談室を通じて職業相談や紹介、求人情報の提供等を行う雇用推進事業に取り組み、就労促進につなげている。

問 スポーツを通して、自然環境に優れた渥美半島の魅力をどのように発信していくのか。

答 サーフィンやトライアスロンなど、本市の自然環境を生かしたスポーツを積極的に振興すること

で、交流人口や関係人口の拡大を図っていく。また、大会開催を通して蓄積した実績や人的交流を生かし、スポーツの力による地域の魅力発信や活性化を目指していく。

問 デジタル化は、行政だけでなく、各種の産業や企業においても取り組みを進めていくと考えるが、市としての支援等をどのように考えているのか。

答 本市の産業や企業に対しては、社会動向や企業ニーズを見極めながら、効率的で利便性の高い地域社会の実現に向け、農業や公共交通など可能な分野から必要な取り組みを行っていく。



代表質問 P 10 自由民主党田原市議団 村上 誠 令和5年度施政方針について

P 11 市民クラブ 平松昭徳 令和5年度施政方針について

個人質問 P 12 内藤喜久枝 地域包括ケアシステムの深化・推進について



P 12 辻 史子 書かない窓口について
投票しやすい環境の向上について
こども・若者・女性議会について

P 13 真野 尚功 人口増加対策について

P 14 小川 貴夫 防災対策について

一般質問

P 15 岡本 重明 安全で快適な住みやすいまちづくりについて

基幹型地域包括支援センターの設置の可能性は

地域包括ケアシステムの深化・推進につながると考え、設置の可能性を引き続き検討していく



内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団



地域包括ケアシステムの深化・推進について

問 高齢者の総合相談窓口である、地域包括支援センターの今後の体制は。

答 名称を高齢者支援センターとし、田原市社会福祉協議会、渥美病院あつみの郷および福寿園に運営を委託している。3センターが協力した連絡体制を継続するとともに相互に補完していく体制を推進し、引き続き機能強化を図っていく。

問 3センターが相互に補完するため、基幹型地域包括支援センター設置が必要と考えるが、その可能性は。

答 専門的な実務指導や助言により、各センターの格差解消やレベルアップが図られるとともに、地域包括ケアシステムの深化・推進につながると考えられるため、設置の可能性を引き続き検討していく。

問 介護保険を使わなくとも、身近な所で高齢者サロンなどの通いの場があると、家族の介護者の負担軽減にもつながると思うが、通いの場の充実・増加の考えは。

答 市民サポーターが楽しい教室になるよう体操後に季節ごとの行事を入れるなど、独自の企画等を工夫することで参加者を増やすことにつながると考えるため、これらの活動を後押しして、より身近な所で通いの場を増やしていきたい。

問 通いの場の参加者は男性が少ないが、どのように参加者を増やすのか。

答 運動機能を向上させる体操教室等に加え、男性の関心の高い趣味的要素を取り入れて、参加のきっかけとなる新たな通いの場を検討していく。



書かない窓口について

問 マイナンバーカードの活用などにより、行政窓口で申請書類などを記入せず手続きができる「書かない窓口」が全国の自治体で広がっているが、本市の現状は。

答 本格的な導入の検討に向け、関係部署との意見交換を行いながら各方面への情報収集を行っている状況。

問 「書かない窓口」は申請書への記入時間や待ち時間の解消、職員の処理時間の短縮、作業の効率化が図られると聞かれますが、導入検討に向けた今後の取り組みは。

答 田原市DX推進本部内に窓口DXに関する研究会を立ち上げ、先進自治体の導入事例なども参考に検討していく。



移動式期日前投票所(※1)を導入する考えは

まずは駅や商業施設などへの出張式期日前投票所(※2)の実施を検討



辻 史子
公明党田原市議団





真野 尚功

自由民主党田原市議団



サーフィン以外の資源を生かした移住促進の取り組みの評価は

農業や観光など資源の活用のほか、まちづくりを総合的に進めることで、移住促進につながっている

人口増加対策について

問 大都市圏で実施してきたシティセールスの現状についての評価は。

答 首都圏や名古屋圏での取り組み評価について、現在、本市の認知度アンケート調査を実施しており、今後は調査結果等を活用してシティセールス推進計画の進捗評価を行い、既存事業の見直しや今後必要となる取り組みの検討を行っていききたい。

問 東京事務所が情報発信拠点となり、首都圏からの人の流れを構築できるとよいと思うが、東京事務所の機能拡充についての本市の考えは。



答 首都圏から本市への人の流れを創出していくことは重要であると考えており、今後の社会・経済動向を見極めながら必要に応じて見直しを進めていきたい。

問 サーフィン以外の資源を生かした移住促進の取り組みの現状についての評価は。

答 本市は、全国トップクラスの農業、臨海部への企業集積、観光資源などさまざまな資源を有しており、就農促進、創業支援や誘客などに取り組んでいる。これらに加え、住宅施策や子育て支援など、まちづくりを総合的に進めることで、本市の魅力が向上し、移住促進につながっていると考えている。

問 親元就農以外の新規就農者への支援拡充について、市の考えは。

答 移住促進対策だけでなく、遊休農地の解消や農業後継者の育成などは、本市の持続的な発展に欠かせないものと考えているため、新規就農しやすい環境を整えられるようこれからも支援していく。

投票しやすい環境の向上について

問 高齢化が進むと投票所への交通手段の確保が難しい有権者が増えると思うが、移動式期日前投票所を導入する考えはあるか。

答 移動式は選挙人名簿のデータ管理に伴うネットワーク環境の整備など多くの課題があるため、まずは三河田原駅や商業施設、市内の高校などに出向いて行う出張式期日前投票所での実施を検討している。

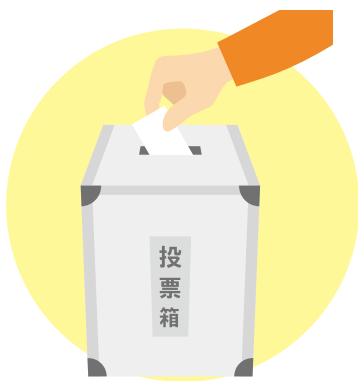
子ども・若者・女性議会について

問 子どもや若者、女性が自分の意見を表明できる場について、本市の考えは。

答 今後のまちづくりにおいて、さらに重要となる子ども、若者、女性の意見が今以上に市政に届く仕組みについて、先進事例を参考に効果や課題、実施手法などを研究していく。

※1 移動式期日前投票所
バスや大型自動車などを活用し、一定時間同じ場所にとどまり、投票所を開設するもの

※2 出張式期日前投票所
特定の施設に出向き、その施設の一区画を投票所として開設するもの



河川・水路等の浸水対策は

県と協力した河川の整備、水路・道路側溝の整備や維持管理、排水機能の確保に努めていく



小川 貴夫
自由民主党田原市議団



防災対策について

問 気象・防災情報を住民に伝える今後の展開は。

答 本市では防災行政無線をはじめ、防災ラジオ、安心安全ほっとメール、ホームページ、ケーブルテレビのほか、民間企業が運営する防災アプリとも連携するなど伝達手段の多重化を図っており、今後は、より簡単に情報を入手できるスマートフォンの活用を広めていきたい。

問 台風15号で特に被害の多かった渥美地域の住宅浸水状況を踏まえた河川・水路等の浸水対策は。

答 泉校区の住宅浸水被害発生の主要因は県管理の防潮樋門と考えられており、県により防潮樋門改築が事業化されているため、本市も事業に協力していく。折立地区の入江川では潮の満ち引きや県管理の防潮樋門が被害発生の要因と考えられるため、県と共に被害発生のメカニズムを検証する。排水対策は、下流からしっかり対応することが重要であるため、県と協力して河川整備に取り組み、水路・道路側溝の整備、維持管理と併せ、引き続き排水機能の確保に努めていく。

問 河川・水路の維持管理の課題は。

答 市管理の河川等のうち、準用河川だけでも56河川、約49キロメートルあり、常時全てを行うことは困難。実施箇所や時期、作業方法など、いかに効果的に対応していくかが課題と捉えている。

問 建築物の耐震化・減災化について、今後の対応は。

答 耐震性の低い建築物の所有者などに直接働きかける耐震診断ローラー作戦の再開などを自主防災会などと協働で実施し、市民全体の耐震化・減災化への意識の高揚と建築物の耐震化率の向上に取り組んでいきたい。



議会ホームページで本会議(一般質問)の映像を見ることができます

パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議(一般質問)の映像を見ることができます。



利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②視聴したい定例会、日程、議員を選択



<https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

スマートフォンで議会だよりが読めます

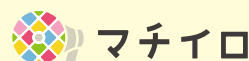
無料アプリ「マチイロ」で「議会だより」をスマートフォンでご覧になれます。

簡単な設定を行えば、議会だよりの発行に合わせて通知が届き、移動中などちょっとした空き時間にご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。



利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②「マチイロ」をダウンロード
- ③個人設定→お住まいの地域を「田原市」に設定



マチを好きになるアプリ



https://machi-iro.town/lq/aichi_tahara



岡本 重明
みんなの党愛知

輸入に依存する農業経営について、今後の市の対応策は

畜産飼料自給率の向上などにつながる取り組みを総合的に実施し、強い農業産地を作っていきたい



安全で快適な住みやすいまちづくりについて

問 化学肥料や飼料等を海外からの輸入に依存する農業経営について、今後の市の対応策は。

答 土づくり講演会の開催や完熟堆肥の利用促進支援、飼料用米の作付け支援など、化学肥料の抑制や畜産飼料自給率の向上につながる取り組みを総合的に実施することで、強い農業産地を作っていきたい。

問 駐在所がなくなり治安に不安感を感じている地域があるが、防犯カメラを集会所以外の場所に設置してほしいとの要望があった場合の市の対応は。

答 要望があった場合には警察と連携し、防犯カメラの増設について検討していく。

問 環境汚染を防ぐため、残土等の搬入時に調査するなどの対応が必要であると考えますが、市の考えは。

答 搬入時の調査は、県が有識者会議で新たな条例の制定に向けた検討を行っているため、県の動向を注視して対応を検討していきたい。

令和5年4月1日付で「みんなの党愛知」から「青嵐会」に会派名が変更されました。

問 汐川干潟再生に対する市の考えは。

答 汐川干潟の再生を目指し保全活動等を推進していくことが重要であり、地域住民や団体等がその必要性を理解し、主体となって環境美化や保全活動を行い、行政と連携するなど地域ぐるみで進めていくことが効果的であると考えます。

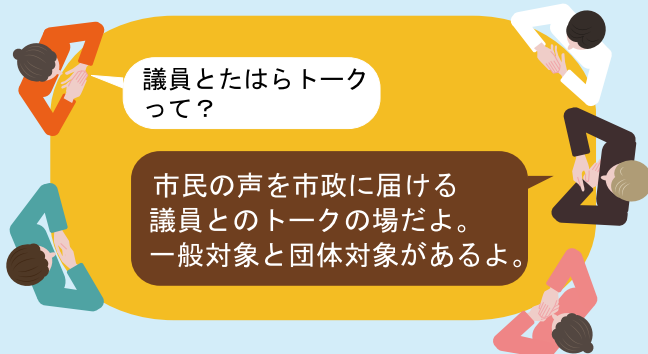
問 低価格で豊富な地元農産物を一層利用すれば、地産地消も推進され給食費の負担軽減につながるかと考えるが、市の対応は。

答 地元野菜が豊富にそろう冬場では、食材購入費は多少低く抑えられるため、今後も少しでも多くの地元食材を確保し、給食費の負担軽減に努める。

問 生活習慣習得やしつけに対する具体的実行策など市内各園が共有できる体制が必要と考えるが、市の考えは。

答 子育て支援課と親子交流館、各園とが情報を共有し、意見交換ができる場を設けており、相互理解を深め協力体制を整えている。

議員と たはらトーク



議員とたはらトークって？

市民の声を市政に届ける議員とのトークの場だよ。一般対象と団体対象があるよ。

●一般対象とは

市民館などで開催します。申し込み不要、どなたでも参加できます。

※新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用と検温・消毒にご協力ください。また、入場制限を行う場合があります。

●団体対象とは

5名以上で共通の活動をしている市民や団体であれば、開催をリクエストできます。お気軽にお申し込みください。

議員とたはらトーク 🔍 検索

お問い合わせは、お近くの議員が議会事務局まで(☎23-3533)

最新情報は
ウェブサイトでご確認ください→
(団体申し込みもこちらから)



令和4年 議会活動状況の報告

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

議会活動状況 令和4年	本会議	定例会	4回 (会期日数 80日、会議日数 16日)			
		臨時会	1回 (会期日数 1日、会議日数 1日)			
		一般質問	代表質問：延べ日数	1日	延べ人数	2人
			個人質問：延べ日数	8日	延べ人数	30人
		傍聴者数	104人			
		議会運営委員会	9回	同協議会	11回	
		総務産業委員会	4回 (付託議案件数 53件)	同協議会	5回	
		文教厚生委員会	4回 (付託議案件数 11件)	同協議会	5回	
		予算決算委員会	13回 (付託議案件数 22件)	行政評価勉強会	2回	
		広報広聴委員会	8回	編集会議 8回	同協議会 8回	
		全員協議会	2回			
		新型コロナウイルス対策検討特別委員会	1回	同協議会	6回	
		田原市総合計画審査特別委員会	1回	同協議会	2回	
		行政視察	総務産業委員会 (9人) 7月20日～22日 茨城県つくば市 (農研機構)「スマート農業」 静岡県伊豆市 「防災対策」 静岡県東伊豆町 「温泉を活用したウェルネスツーリズム」 文教厚生委員会 (9人) 7月29日～31日 岡山県倉敷市 「学校プールの集約化や共同利用に関する取り組み」 岡山県真庭市 「バイオマス発電及びカーボンオフセット」 大阪府岬町 「町営プールによる水泳授業実施」 議会運営委員会 (7人) 10月27日～28日 神奈川県横須賀市 「予算決算常任委員会の運営方法 (委員会の総括質疑)」 神奈川県茅ヶ崎市 「決算審査での事業評価の導入と翌年度予算編成への反映」ほか 広報広聴委員会 (7人) 8月3日～4日 埼玉県寄居町 「議会だよりの編集」 埼玉県富士見市 「オンラインでの意見交換会」「高校生との対談」			
		市内・市外視察	5回 (総務産業委員会 1回、文教厚生委員会 3回、広報広聴委員会 1回)			
	議員研修会	東三河市町村議会議員・議会事務局職員合同研修会 ・8月2日 「火山を楽しむこと、備えること～火山の無い県の火山防災～」 議員研修 ・1月20日 「渥美半島の地形・地質と過去の地震・津波災害から学ぶ」 ・10月31日 設楽町議会との合同議員研修				
	委員長会議	5回				
	議案件数 (令和4年)	条例 35件 選挙 0件 意見書 2件 決議 1件	予算 18件 推薦 4件 請願 1件 報告 14件	決算 5件 その他 27件 陳情 8件 専決 3件		

1月7日
田原市消防出初式



昼夜を問わず地域の防災活動の中心となる消防団員を激励しました。

1月8日
田原市二十歳の集い



「皆さんの活躍がこれからの田原市の力となる」と激励の言葉を送りました。

1月18日
渥美半島幹線道路等整備促進協議会現地視察



幹線道路の建設促進に必要な調査研究のため、国道23号蒲郡バイパスの工事現場を視察しました。

2月7日～10日、14日
新任議員連続基礎講座



議員として理解しておくべき基本的事項や市政に関する各分野の現状と課題などについて、担当部長などからご講義いただきました。

2月25日
設楽ダム転流式



本格的なダム本体工事に向けた転流式に、東三河地域の発展を願い、議長が出席しました。

3月16日
総務産業委員会市内視察



サーフスポットとしての魅力などを堪能できるコテージ型宿泊施設として「VILLA YAHACHI GARDEN」を視察しました。

お知らせ information

令和5年第2回定例会（6月定例会）会期
6月8日（木）～6月26日（月）

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31	6/1	2	3
4	5	6	7	8 本会議 (市長所信表明、議案審議)	9	10
11	12 本会議 (代表質問・一般質問)	13	14	15 文教厚生委員会 総務産業委員会	16 予算決算委員会	17
18	19	20	21	22	23 議会運営委員会	24
25	26 本会議 (採決等)	27	28	29	30	7/1

開会時刻は10時です。（6月15日の総務産業委員会は13時30分）

※日程および時間は、変更になる場合があります。

📺マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。
本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。



インタビュー

Vol.37 赤羽根学園の
職員の皆さん

— 赤羽根学園とは。

赤羽根学園は昭和33年に開園し、さまざまな事情で親と離れて暮らす子どもたちの施設で、現在、幼児から高校生までの37名が入所しています。原則18歳まで施設で生活できますが、その後は社会に巣立ち、自分の足で生活していくこととなります。

— 学園の理念は。

「佛（明るく）法（正しく）僧（仲良く）」を教育理念として掲げます。



— 長年、施設を運営してうれしかったことは。
自立した子どもたちが、自分の家庭を築いて会いに来てくれた時は、涙が止まらないほどうれしいです。

— 市民に伝えたいことは。

地域の皆さま、ごも園、学校に理解されていることに感謝でいっぱいです。ただ、まだ赤羽根学園のことを知らない方が多いと感じるため、より多くの市民の皆さまに知ってほしいと思います。

— 今後必要な支援の動きは。

市内には、学園を巣立った子どもたちが、大学進学や社会で挫折などをした場合に安心して戻ることのできる、家庭の存在に等しい場作り等を進めようとする民間サポートの動きがあります。「いつでも田原市には帰る場所がある」を理念とする民間ボランティアが育つことで、卒園生が安心して社会に出て、幸せな人生を歩くためのささやかなサポートができるようにと準備を始めています。

赤羽根学園の子どもたちに幸あれ！



（聞き手：岡本重明）令和5年3月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

📄 <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集

パートさん
しその葉の摘み取り作業

内職さん
しその葉の結束・パック詰め

（応募）まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

（有）前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅：TEL0531-37-0447



社会福祉法人福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里



田原福祉グローバル専門学校

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。